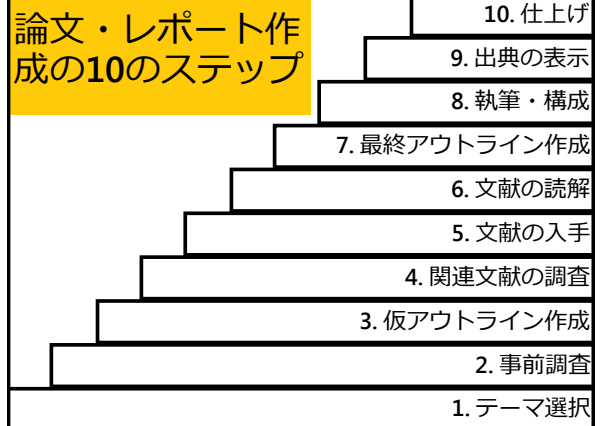


文献を引用して 説得力のあるレポート にしよう

レポート・論文作成講座 第3回
実用編



STEP6 情報の評価

レポートで使えるのはどれでしょう？ 4



学術情報とは 5

学術研究の成果として生み出された情報およびそれがさらに編集, 圧縮, 加工されて生成された情報。(『図書館情報学用語辞典第4版』より)

●条件

- 学術的な目的で書かれた文章
- 引用と出典の明示
- レポート = 学術情報
- 学術情報の中では学術情報の利用を！

一般向けの情報 VS 学術的な情報

- レポートで使用するために適切なものとは？
 - 学術情報
 - 証拠・根拠に基づいて(書かれて)いる
 - 引用と出典の明示
- 一般向けに書かれたものか、学術的な目的で書かれたものか、引用と出典の明示によって見分ける！

雑誌論文の例

7

雑誌論文の例

女子中高生における口やのどの乾燥に関連した自覚徴候に共通する要因

著者 伊藤 洋一、藤田 真由、中野 心也、川口 望、長谷 美久、高橋 一幸

要約 本研究は、自覚徴候（口やのどの乾燥感）と、全身症状（口やのどの乾燥感、目やの乾燥感）に共通する要因を明らかにすることを目的として、女子中高生を対象とした調査を行った。調査結果から、口やのどの乾燥感と全身症状に共通する要因として、年齢、性別、喫煙習慣、歯磨き習慣、歯の健康状態、唾液分泌量などが挙げられた。また、年齢と性別は、口やのどの乾燥感と全身症状の両方に有意な影響を及ぼした。喫煙習慣は、口やのどの乾燥感に有意な影響を及ぼしたが、全身症状には有意な影響を及ぼさなかった。歯磨き習慣は、口やのどの乾燥感と全身症状の両方に有意な影響を及ぼした。歯の健康状態は、口やのどの乾燥感と全身症状の両方に有意な影響を及ぼした。唾液分泌量は、口やのどの乾燥感と全身症状の両方に有意な影響を及ぼした。以上の結果から、口やのどの乾燥感と全身症状に共通する要因として、年齢、性別、喫煙習慣、歯磨き習慣、歯の健康状態、唾液分泌量などが挙げられることが示された。

キーワード 口やのどの乾燥感、全身症状、女子中高生、要因

雑誌の評価: 引用の有無 8

引用	出典
<p style="text-align: center;">書籍</p> <p>近年、10代の若年層から高齢者までの幅広い年齢層において、口唇の乾燥感を訴える者が増加している¹⁾。その原因として、夏年期解を伴った乾燥²⁾、香料成分の蓄積³⁾、シェーグレン症候群などの全身疾患⁴⁾、ファーストフードやソフトフードを好む傾向に起因する乾燥⁵⁾などが考えられている⁶⁾。食生活習慣的変化⁷⁾、ストレスなどの精神的要因⁸⁾さらには口呼吸⁹⁾などもさ</p>	<p style="text-align: center;">文献</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 櫻井 真由, 内藤 健太: 「ファンタジー・ファンタジー」 専攻士に即座に 掲載, 加藤 隆雄 監修, 第1巻, 2003, 34-50頁。 2) Shiga H, Franklin RM, Mitsu S, et al: Environmental and associated factors in community dwelling adult population. Community Dent Oral Epidemiol 23: 12-20, 1995. 3) Siderakis T, Sakuma E, Morimoto H et al: Prevalence of parotid dysfunction of dry mouth in an adult Swedish population related to age, sex and tobacco use. Community Dent Oral Epidemiol 25: 211-216, 1997. 4) Bergfeldt M, Nilner M: Oral and dental complaints in adult dental patients. Community Dent Oral Epidemiol 23: 9-16, 2000. 5) Locker D: Subjective reports of oral dryness in an older adult population. Community Dent Oral Epidemiol 21: 485-488, 1993.

美平ら「女子中高生における口やのどの乾燥に関連した自覚徴候に共通する要因」より

STEP7 最終
アウトライン
の作成

STEP7 最終アウトラインの作成 10

●文献調査で入手した情報に基づいて,
アウトラインを再構成
=結論に至るまでの思考の道筋を示す

一大空市駅前商店街の活性化に向けた提案

最終アウトライン

1. はじめに
- (1) 問題の所在——一大空市駅前商店街の現状、活性化のためのショッピングセンターの建設による売上げ増

最終アウトライン 11

1. 日本におけるファーストフード
 - 日本でのファーストフードの登場：1970年代に日本に（文献1より）
 - 特に若者たちに外国の食文化としてとして歓迎され、その後、低価格で手軽な食事として、ファミリー層や低年齢の子どもにも常的に利用されるようになっていった（文献1より）
2. ファーストフードの子どもの食生活への影響
 - しかし現在では、食の側面が指摘されることが多くなっている
 - ファーストフードの高カロリーで栄養価が低い点や肥満への影響への指摘（文献2, 3）
 - 子どもの食生活の変化による味覚の未発達などへの影響の調査（文献4）
 - 企業の低年齢層へのマーケティングの強化も問題視されている（文献5）
3. 子どもの食生活を守るために
 - 親がもっと関心を払うよう指導を行うべき
 - 企業の低年齢層への広告などは規制を行うべき

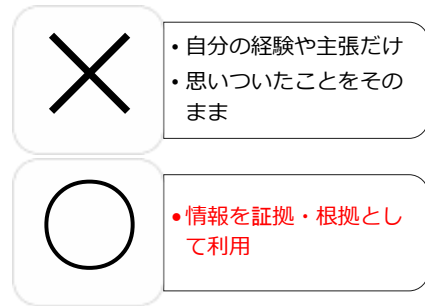
●項目 + 引用する文献

STEP8 情報の引用

レポートも学術情報である

- 感想を書きなさい → 感想文
-
- 読んで要約する
- 調べてまとめる、整理する
- 分析する、検討する、考察する、論じる

レポートでは...



引用の方法

15

直接引用

●～は「・・・」と述べている。

間接引用

●～の論文では・・・であることが示されている。

直接引用

16

～は「・・・」と述べている。

- 元の文章の表現をそのまま引用する
- 引用部分を「 」などで示し、文献リストに出典を示す
- 引用の際、元の文章を一字一句すべてそのまま引用する（修正してはいけない）

直接引用の例

17

前コロラド大学総長のゴードン・ギーは、情報リテラシー概念の登場に関して、「情報リテラシーを身に付けた市民の育成という、より幅広い要求に対しては、コンピュータ重視のやり方では不適切なことが、その後、数年のうちに明らかになった」と述べている¹⁾。

(引用文献)

1) ブレイビク、ギー、『情報を使う力』勁草書房、1995年。

間接引用

18

～の論文では・・・であることが述べられている。

- 元の文章を内容のみを自分の言葉に変えて引用する
- 内容を引用した部分、または引用した文章の終わりに引用を示す印（文献番号、著者名と出版年）などを入れ、文献リストに出典を示す

間接引用の例

19

前コロラド大学総長のゴードン・ギーは、情報リテラシー概念の登場に関して、情報リテラシーを身に付けた市民の育成のためには、コンピュータ中心の教育では不適切であることを述べている¹⁾。

(引用文献)

1) ブレイビク, ギー. 『情報を使う力』勁草書房、1995年。

引用のタブー

20

- 剽窃 (ひょうせつ)
 - 本文中で引用部分を示さず、出典を明らかにせずに他者の文章を利用すること
 - コピペ
- 孫引き (まごびき)
 - 誰かが引用している内容について、元の情報を確認せずに、引用すること

引用初心者あるある！

21

次回書式を整えて、
仕上編 レポートを
(12/15, 仕上げよう
18)